

総合計画 体系	事務事業名 県有種雄牛産子造成奨励事業			所属部	産業振興部			所属課	農林振興課		
	政策名 <Ⅴ>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>			所属G	畜産グループ			課長名	杉原律雄		
	施策名 <36>農業の振興			担当者名	高橋 司			電話番号	0854-40-1051		
	目的	対象	意図	(内線) 2411							
	目的	市内の農家	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。								
	基本事業名<111>農畜産物の販売及び販路拡大			予算科目	会計	款	大事業	大事業名	畜産事業総務管理事業		
目的	対象	意図	01	3	0	01	中事業名	県有種雄牛産子造成奨励事業補助金			
	担い手農家・担い手以外農家	販売額が増加する。	05	4	0	95	中事業名				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間

☐ 単年度のみ

☒ 単年度繰返
(24 年度～)

☐ 期間限定複数年度
(年度～ 年度)

② 事業内容
(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

県有種雄牛を活用した“奥出雲和牛”のブランド化を図るため、県有種雄牛産子を作成することを条件とした肉用牛の保留・導入を奨励するため、その保留・導入に対して補助金を交付する。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動						
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 対象となる優良牛に認定審査、決定補助金の支払い。 巡回、認定審査会 2回		28年度計画(28年度に計画する主な活動) 対象となる優良牛の認定審査、決定補助金の支払い。				
② 活動指標			単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
ア	当該事業の保留・導入頭数	頭	14	15	34	20	
イ	肉用牛優良雌牛奨励事業補助金による保留・導入	頭	2	12	0	0	
ウ	新農林水産振興がんばる地域応援総合事業による保留・導入	頭	5	0	0	0	
エ							

(3)事務事業の目的・指標

① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
目的	和牛飼養農家	ア 和牛飼養農家	戸	128	121	115	115
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
		ア 繁殖和牛飼養頭数	頭	513	483	410	410
		イ 県有種雄牛産子の上場頭数	頭	164	123	144	161
ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)		② コストの推移		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
補助金5,100千円 (150千円/1頭)		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円					
			地方債	千円	1,400	1,500	5,100	3,000	
			その他	千円					
			一般財源	千円					
			事業費計 (A)		千円	1,400	1,500	5,100	3,000
人件費		人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
			延べ業務時間	時間	180	240	200		
			人件費計 (B)	千円	701	933	783		
			トータルコスト(A)+(B)		千円	2,101	2,433	5,883	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

<p>① 環境変化（この事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？）</p>	<p>② 改革改善の経緯（この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか？）</p>	<p>③ 関係者からの意見・要望（この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか？）</p>
<p>雲南市は、県内の米・畜産（繁殖和牛）の産地であるが、農家の高齢化や後継者不足により畜産農家数及び飼養頭数が減少してきている。</p> <p>JALまね雲南地区本部の肥育事業が縮小され、市場での買い支えも十分ではない。繁殖基盤の立て直しが必要である。</p>	<p>平成27年度</p> <p>①補助上限額の引き上げ 100千円/頭⇒150千円/頭</p> <p>②指定交配期間の緩和 3年間⇒1産目の産子生産</p>	<p>市和牛改良組合で県有種雄牛の指定交配が課題となっているが、県有種雄牛の授精が進んでいない。県有種雄牛産子と他の産子との市場価格差の補填を求める声がある。指定交配期間の緩和、子牛の市場価格が上昇し、補助上限額引き上げの要望がある。導入時、速やかに補助金を交付するよう要望がある。</p>

事務事業名	県有種雄牛産子造成奨励事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
B 有効性	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
D 公平性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 優良牛を保留・導入し、県有種雄牛の指定交配を実施する農家としており、予算を増額することによって県有種雄牛産子の生産増が見込まれる。さらに、飼養頭数の増に結びついていけば向上の余地がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
E 効果性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 畜産農家の生産意欲の減退に繋がる。平成24年度から開始した事業のため、継続実施して県有牛の産子の市場出荷を増加させていく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
F 持続性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名) 新農林水産振興ががんばる地域応援総合事業	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
G 評価性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 1頭当たりの飼養管理に係る経費の高騰、子牛の平均価格が上昇し、さらに補助上限額、補助率を引き上げる要望があり、削減が難しい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
H 評価性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 補助金の予算執行に係る事務のため、削減の余地は無い。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
I 評価性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 全ての和牛飼養農家を対象としており、または受益者の負担を求めており、公平・公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
J 評価性	⑩ 1次評価者としての評価結果		⑪ 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
K 評価性	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		継続して実施し、県有種雄牛の上場頭数を増やしてブランド化に結びつける。
	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table><tr><td></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td>×</td><td>×</td></tr></table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																			
	削減		維持	増加																
成果	向上		●																	
	維持		×																	
	低下	×	×																	
和牛の改良を進めるため高齢牛の更新を進め、上場子牛を県有種雄牛産子に斉一化させ「奥出雲和牛」のブランド化と市場価格の安定に結びつける。 優良牛の保留・導入による増頭と、指定交配による県有種雄牛の産子の増産、並びに精液の積極的な活用に結びつける。																				